

# DEPO<sup>®</sup> CAM

## DEPOCAM - V15.0

UVパス  
&  
リンク

5軸荒取り

5軸で  
Tスロット工具

工具シートに  
画像追加

ユーザーインター  
フェイスに多数の  
新機能・仕様拡張

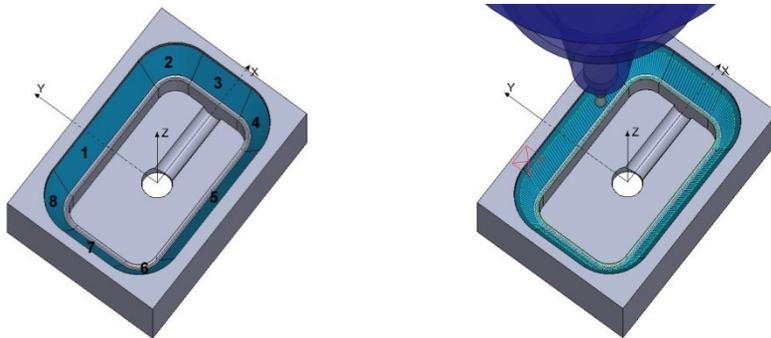
画像提供：Telkom - OT d.o.o. (スロベニア)

**DEPOCAM V15.0 新機能案内**

## DEPOCAM V15.0 新機能 - 基本モジュール

### UV 曲面加工 - パート 2 - UV パス

DEPOCAM v15.0 では、UV 加工パスを作成時に、曲面の元々の選択順を保持するようになりました。チェーンを作成するに続けて曲面を選択すれば、リトラクトや早送りを最小限にできます。



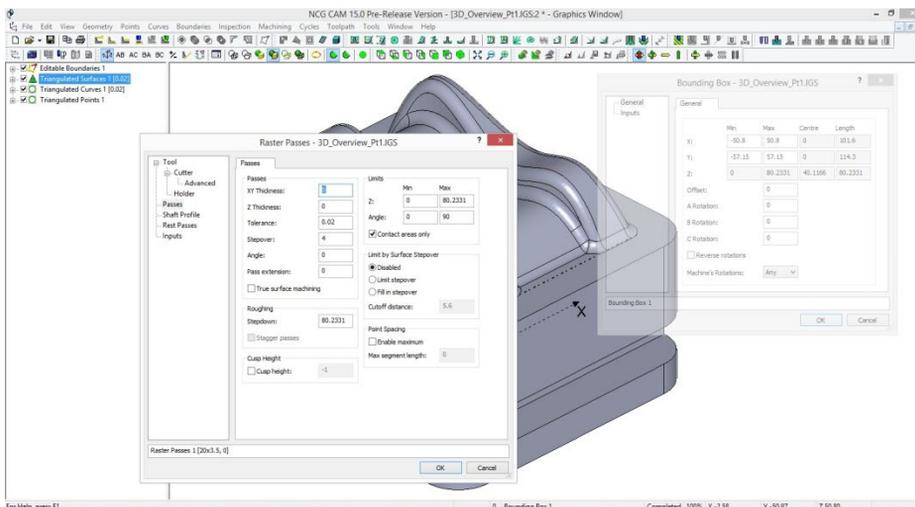
### UV 曲面加工 - パート 2 - UV パスリンク

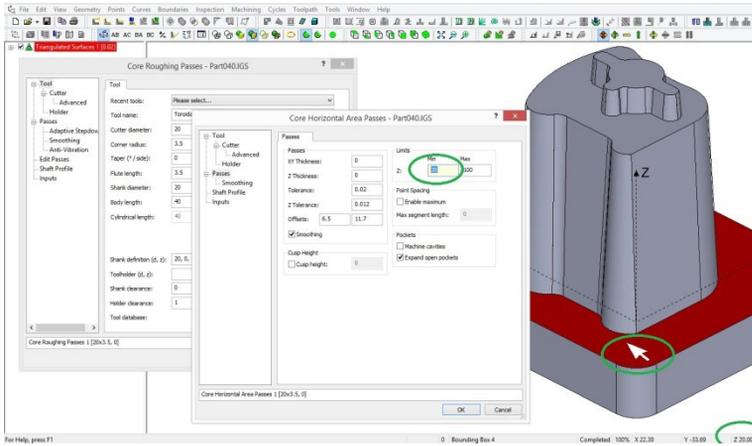
隣接した選択曲面に直交するパスに最善のリンク順となるように、UV パスのリンクで「往復」の項目を追加しました。

### ユーザーインターフェイス

ユーザーインターフェイスとダイアログの動作に根本的な仕様拡張があります。以前は、一つのダイアログを開くと他のダイアログは利用できず、また「グラフィックウィンドウ」でも一切の操作が出来ませんでした。

新しい動作では複数のダイアログを開くことが出来ますが、更に重要なのは、グラフィックウィンドウと連動して座標を取得できるようになることです。

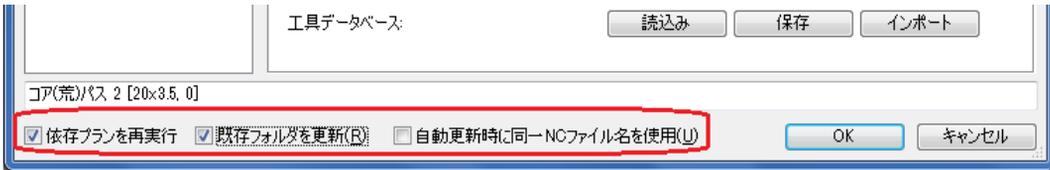




ユーザーインターフェイスの変更の一例としては、曲面データ上でマウスを動かしている時に、カーソル位置の Z 値を取得して、様々なパラメータ欄の入力に使えるようになります。

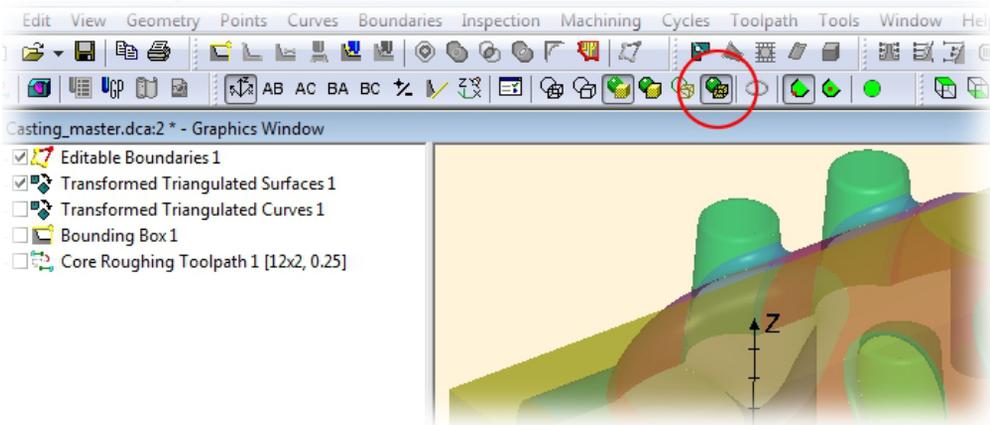
また、ワイヤーフレームモデルでは、現在のカーソル位置をマウスでピックできます。走査線パスでは、2 点を加工方向ベクトルを指定するのに使えます。

工程を確認する際、例えば「プロパティ」を使用時、拡張オプションを表示するのにも Ctrl / Shift キーを使わなくてもよくなりました。拡張オプションがダイアログ自体に表示されるようになったからです。但し、Ctrl / Shift キーは引き続き、ダイアログ上でデフォルトを設定するのには使えます。



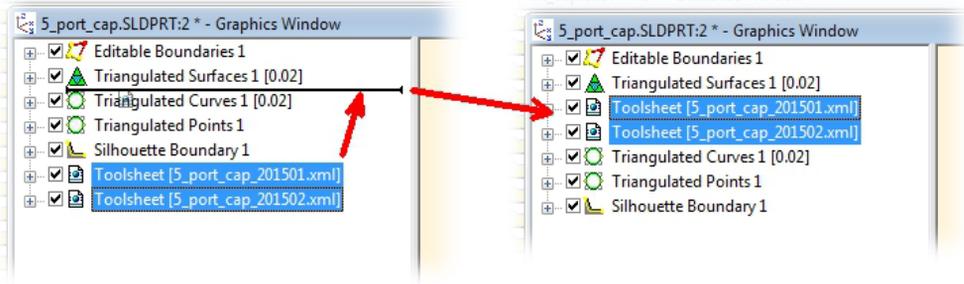
工具やホルダーの長さを確認できるよう、加工パスの「工具（一式）」タブに目盛を追加しました。

グラフィックツールバーに、半透明表示に出来る新項目を追加しました。



## ユーザーインターフェイス

ツリービュー内で、複数選択した工程をドラッグ&ドロップで移動することが出来るようになりました。



## ローテーションの改善

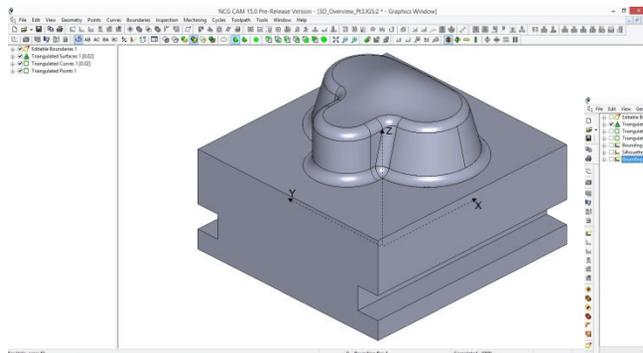
DEPOCAM v15.0 では、指定の点やビューを中心としてローテーションを行えるようになります。この仕様拡張によって、拡大時にも画面中央を中心としてローテーションできるようになり、加工モデルを画面内に収めておくことが出来るようになります。

## 自動保存オプション

DEPOCAM データ (dca) を前もって指定した時間ごとに“自動保存”できる項目を追加しました。バックアップマクロの機能も残してあります。

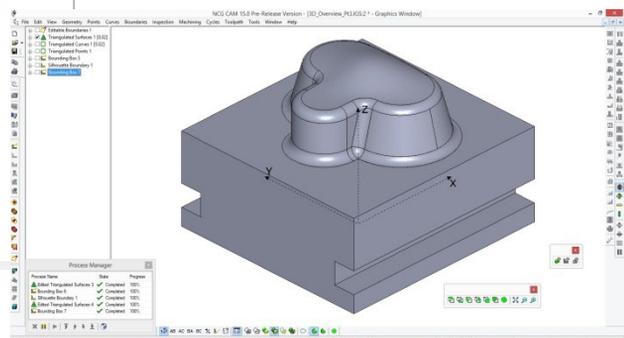
## ツールバーを画面のサイドに縦に配置

ツールバーを、今まで通り画面の上に配置する他に、左または右のサイドに縦に配置することが出来るようになりました。ラップトップのワイド型スクリーン等で、画面のスペースをより有効に活用できるようになります。

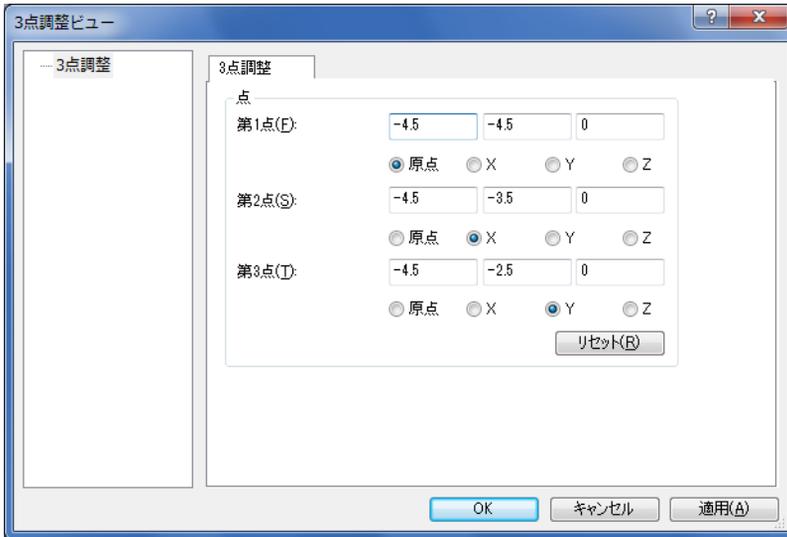


上 - 従来の画面レイアウト

下 - 新しい画面レイアウト



## ビューの3点調整



「表示」メニューで、「3点調整」が利用できるようになりました。点フォルダに入っている3点を使ってビューを調整できます。

3+2軸の作業で、ビューを曲面に垂直にするのが無理な場合や、ローテーションしてもいまひとつ正確な位置にならないような場合に便利です。

## 工具シートに工具設定ページを追加

工具シートに、使用する各工具の画像と詳細を表示する新セクションを追加しました。

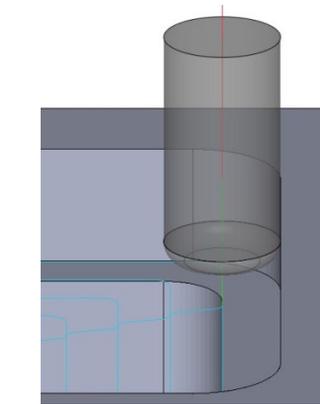
<b>工具番号 T</b>	<b>1</b>	
工具タイプ	ブルノーズ	
工具名(本体)	ブルノーズ[15x1.5 30, 0.2]	
工具径	15	
コーナーR	1.5	
テーパ角	0	
刃数	2	
有効刃長	1.5	
工具長	30	
ストリート部長さ	30	
工具切削時間	00:00:38	
工具名(一式)	ブルノーズ[15x1.5 30, 0.2] + Test Holder2	
ホルダー	Test Holder2	
ホルダー詳細	0 0 30 0 40 2 40 10 60 10 60 40	

[概要に戻る](#)

<b>工具番号 T</b>	<b>2</b>	
工具タイプ	ボールエンドミル	
工具名(本体)	12mm ボールエンドミル(テスト用)	
工具径	12	
コーナーR	6	
テーパ角	0	
刃数	2	
有効刃長	6	
工具長	12	
ストリート部長さ	12	
工具切削時間	00:00:41	
工具名(一式)	12mm ボールエンドミル(テスト用) + テスト用ホルダ1	
ホルダー	テスト用ホルダ1	
ホルダー詳細	20 0 30 10 30 30	

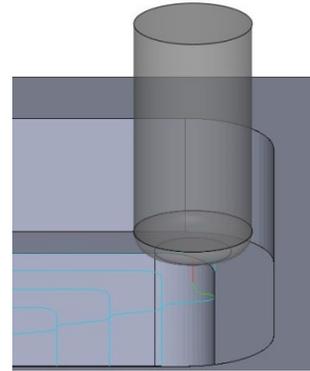
## 等高線荒取りのリンク - 水平リーズアプローチ

DEPOCAM v15.0 では、垂直壁に沿って工具を引き上げる際に工具を壁から離すよう、アプローチアウトに水平円弧が可能となりました。これまでは、早送りのリトラクトで工具先端が破損したり、加工物に望ましくない痕がついたりする可能性があります。



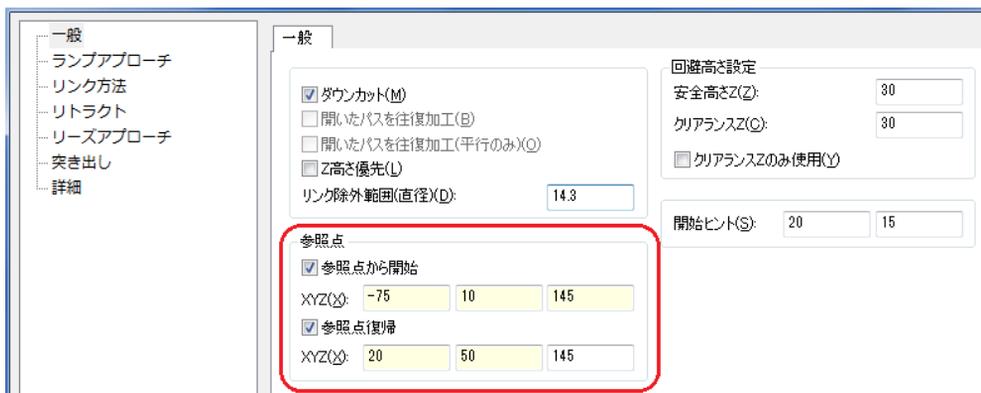
上 - 従来の DEPOCAM

下 - DEPOCAM v15.0



## リンク

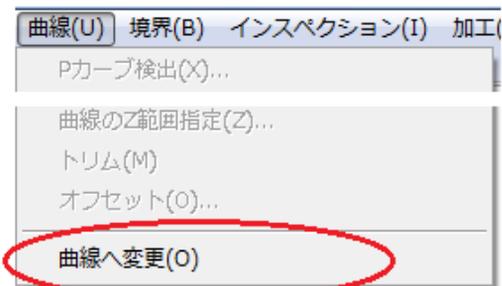
“参照点”の位置を、開始時と終了時別々に設定できるようになりました。



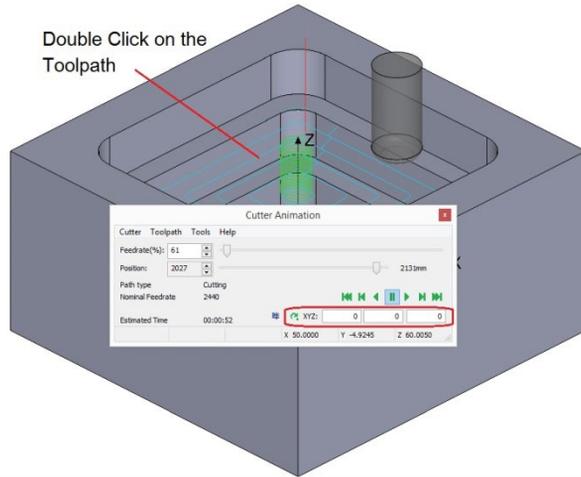
## 点を曲線に変換

点を曲線に変換することが出来るようになりました。点フォルダを選択すると、「曲線」メニューに「曲線に変更」の項目が出て来ます。フォルダ内の点は、表示されている順につなげられます。

この機能は、5軸曲線加工ツールパスや5軸スワーフ加工ツールパスを作成時に、傾斜を制御する曲線を作成するのに使えます。



## 工具アニメーションの仕様拡張



工具アニメーションのダイアログが改良され、ツールパスのアニメーションを制御するビデオスタイルのボタンが入りました。

工具アニメーションのダイアログで、3+2 軸ツールパスの場合、ツールパスの境界によって指定された通りに、自動的に ABC 回転角度を表示するようになりました。5 軸ツールパスでは、表示される回転角度をツールバーから選択できます。

工具アニメーションに新機能が追加されました。工具アニメーションのダイアログが表示されている時に、ツールパスをダブルクリックすると、工具がその位置に移動します。または、ダイアログ内で新項目「XYZ」を使って、ツールパス沿いに工具を移動します。

## 曲線修正の仕様拡張

新しい曲線修正機能が追加されました。「平面自動調整」は、3D 曲線を自動計算した平面に 2D 変換するオプションです。曲線の「オフセット」機能は、平面上の閉じた曲線の 2D オフセットを行います。

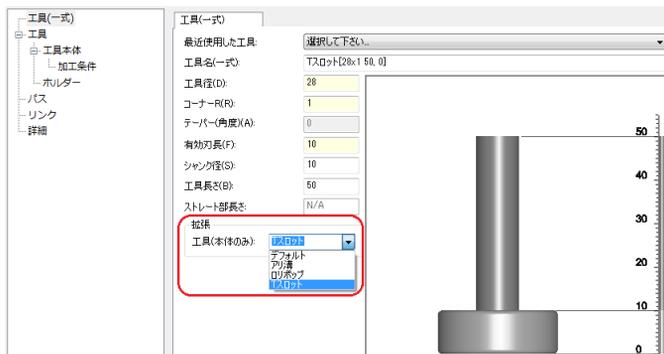
## DEPOCAM 新機能 V15.0 – 5 軸オプションモジュール

### 傾斜調整曲線の選択

5 軸スワーフ加工ツールパスを作成時に、傾斜調整用の曲線を選択することが出来るようになりました。

これによって、工具軸を曲線に合わせて調整し、場所によってよりうまく工具が入るよう、コントロールできるようになります。

### T スロット工具



5 軸加工で、ロリポップやアリ溝工具などと共に、T スロット工具も使えるようになりました。

## DEPOCAM 新機能 V15.0 – 5軸オプションモジュール

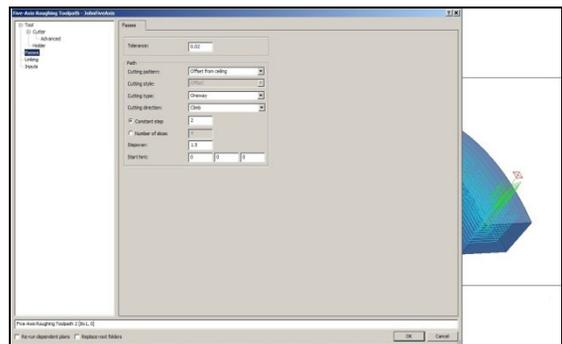
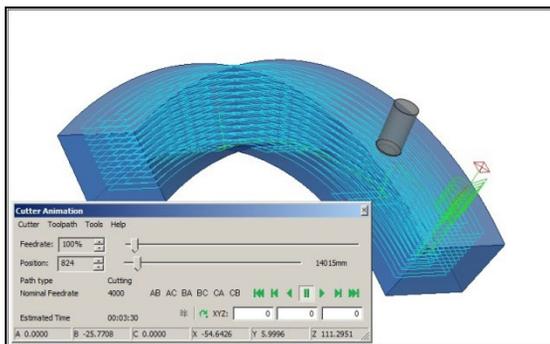
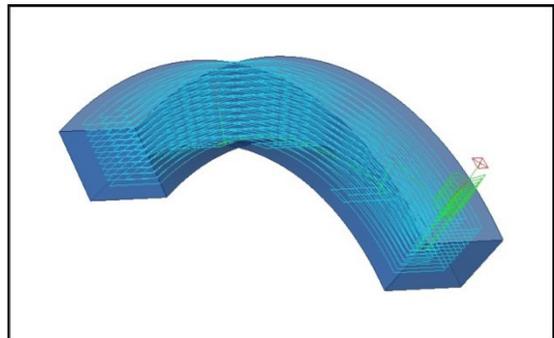
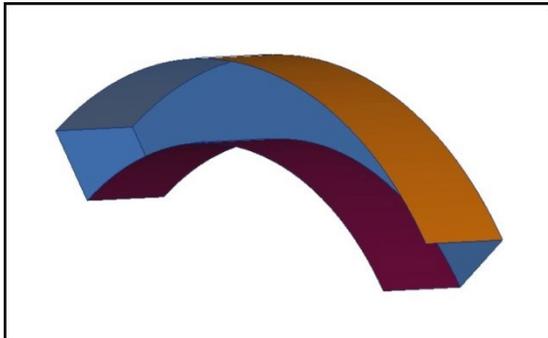
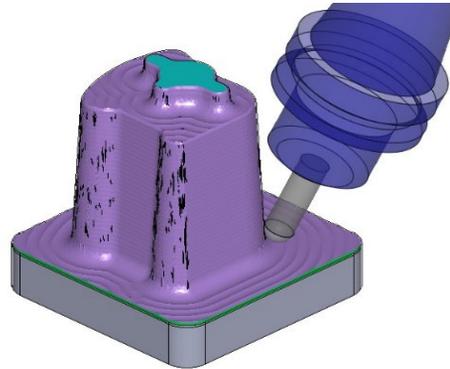
### 5 軸荒取り

ポケットや複数曲面の図形を荒取りする新機能、「5 軸荒取り」加工が追加されました。選択すべき曲面は3個のフォルダに入っており、それぞれ底面、壁面、そして最後に天面の曲面になります。

任意で、荒取りツールパスの作成領域を限定する境界曲線を使うことも出来ます。

オフセットベースの加工方法は、天面からオフセット、底面から、あるいは1本のパスから次へのモーフィングが可能です。

後日のポイントリリースにて、負荷調整加工が入る予定です。



### 5 軸ツールパス編集

5 軸ツールパス作成時の選択項目に、ストックモデルも使えるようになりました。最初に、曲面フォルダをストックモデルに変換しなければなりません。その後、ツールパスはストックモデルに対して編集され、5 軸の削り残し荒取りツールパスが出来ます。

# DEPO<sup>®</sup> CAM

販売店連絡先:

